



SEKISUI

積水化学グループ中間報告書

2019

(2018年4月1日～2018年9月30日)

証券コード:4204

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。また、このたびの相次ぐ大型自然災害により被災された皆様ならびにご家族の皆様にご挨拶に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復旧されることを心よりお祈り申し上げます。

積水化学グループの2018年度上半期の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

2018年度上半期は、これまで実施してきた増産投資や新製品投入、営業力強化といった成長戦略の効果が発現し、売上高は前年同期比3.9%増の5,549億円となりました。一方で原材料価格上昇や相次ぐ自然災害などによる工事遅延の影響を受け、営業利益は前年同期比8.3%減の421億円、経常利益は5.6%減の458億円、四半期純利益は4.8%減の325億円となり、増収減益となりました。

下半期につきましても、米中貿易摩擦による影響など景気の先行きが不透明な事業環境が続くと思われませんが、中期経営計画の基本戦略である「未来への成長投資」と「たゆまぬ構造改革」を強力に推進して、通期の売上高は前年度を555億円上回る1兆1,630億円、営業利益は前年度を27億円上回る1,020億円を達成し、10期連続営業増益、6期連続最高益更新を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも厚いご支援を、引き続き、賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長

高下貞二

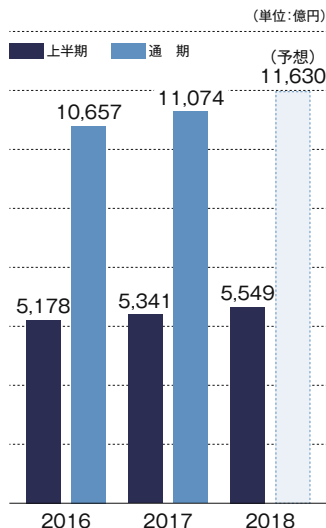


積水化学グループ上半期決算のご報告

売上高

5,549億円
+3.9%

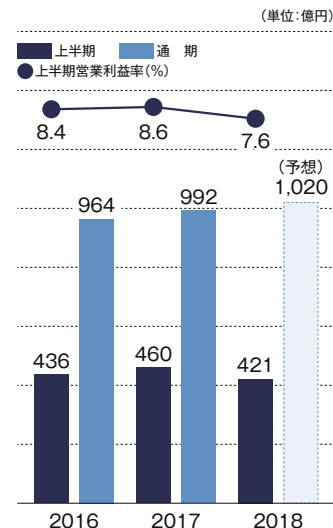
車輜・輸送分野を中心とした高機能品や戸建住宅の販売が拡大したことや連結対象会社数が増加したことなどにより、3.9%増加しました。



営業利益

421億円
-8.3%

成長投資や営業戦術増強、研究開発推進など、成長に向けた施策に伴う固定費の増加や原材料価格上昇に加え、自然災害の影響を受け、8.3%減少しました。

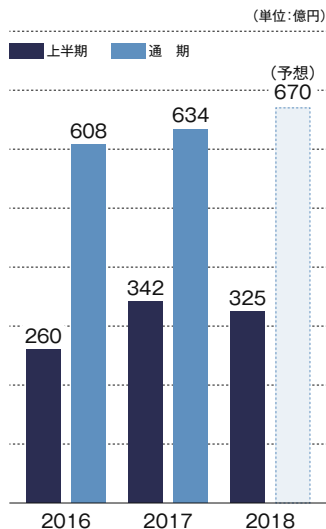


- 2 -

親会社株主に帰属する 四半期純利益

325億円
-4.8%

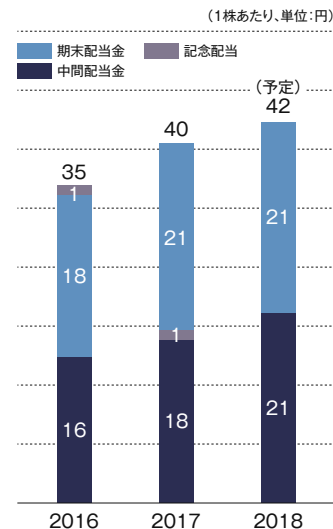
営業利益が減少したことや前年同期に固定資産売却益が発生したことなどにより、4.8%減少しました。



中間配当金

21円

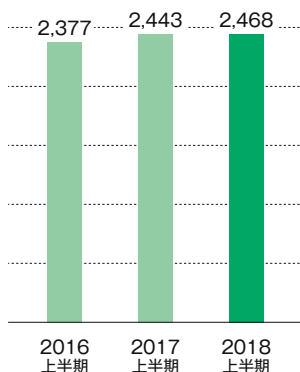
2018年10月29日開催の取締役会において、前年度の中間配当金より2円増額となる1株につき21円とし、支払開始日を12月3日とさせていただきますことを決議しました。



- 3 -

(単位: 億円)

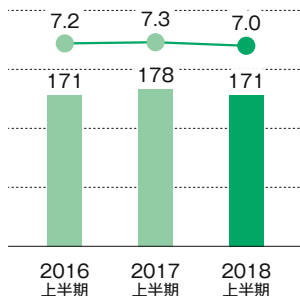
売上高の推移



(単位: 億円)

営業利益の推移

● 営業利益率(%)

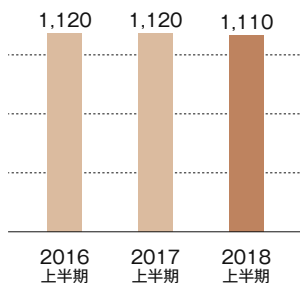


- 戸建住宅の売上が前年同期を上回り増収となりましたが、大型自然災害による工事遅延や原材料価格上昇などの影響を受け、減益となりました。
- 新築住宅事業は、ボリュームゾーンをターゲットとした「グランツユー-V(ファイブ)」や分譲住宅など戸建住宅が順調に推移したことにより、売上、受注ともに前年同期を上回りました。また、営業人員増員やモデルハウス拡充などの営業体制強化を図りました。
- リフォーム事業は、大型自然災害の影響により売上は前年同期を下回ったものの、蓄電池など戦略商材の販売を拡大したことや間接部門の効率化など収益体質強化を推進したことにより、増益となりました。

- 4 -

(単位: 億円)

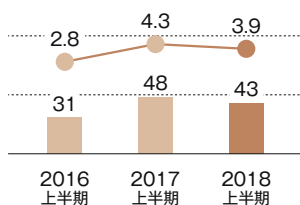
売上高の推移



(単位: 億円)

営業利益の推移

● 営業利益率(%)

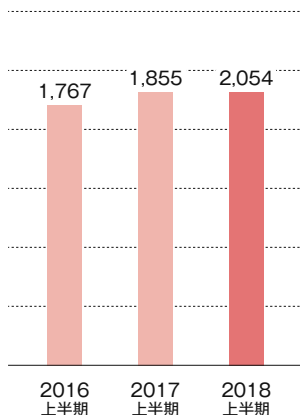


- 重点拡大製品の販売や海外事業が順調に推移したものの、国内外の自然災害などによる影響や原材料価格上昇の影響を受け、減収減益となりました。
- 配管・インフラ分野は、国内では、重点拡大製品の販売が拡大し、海外では、パートナー戦略の効果によりASEAN地域のプラント向け管材や管路更生資材の販売が好調に推移したことにより、売上は前年同期を上回りました。
- 建築・住環境分野は、集合住宅の需要減少の影響を受け、建材・ユニットバスの売上が前年同期を下回りました。新製品の投入と事業構造改革に注力しました。
- 機能材料分野は、航空機向け成形用プラスチックシート事業が、新規顧客の獲得などに取り組みました。海外で採用が拡大している合成木材FFU製まくらぎは、欧州を中心に採用拡大を進めました。

- 5 -

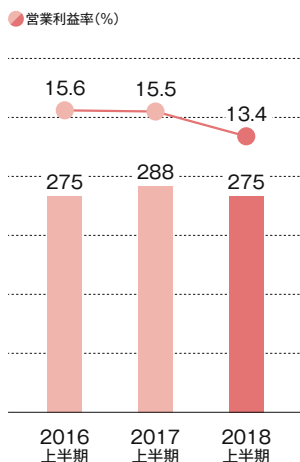
(単位:億円)

売上高の推移



(単位:億円)

営業利益の推移



- 車輻・輸送分野とライフサイエンス分野の販売が拡大したことや新規連結の効果により増収となりましたが、戦略投資による固定費の増加や原材料上昇などの影響を受け、減益となりました。
- エレクトロニクス分野は、モバイル端末の需要が回復基調であったことに加え、TVなど大型パネル向け需要が堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。
- 車輻・輸送分野は、合わせガラス用中間膜のメキシコ工場新ラインが寄与したことなどにより、売上を伸ばしました。前年度から連結対象となった積水ポリマテックグループが売上増に貢献しました。
- 住インフラ材分野は、中東地域や韓国などにおいて建築需要減退の影響があったものの、積水ソフランウイズが連結対象となったこともあり、売上は前年同期を上回りました。
- ライフサイエンス分野は、海外を中心に検査薬需要が堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。シンガポールの検査薬事業会社 Veredus Laboratories を連結対象とし、ASEAN 地域の事業拡大と販売体制強化を図りました。

- 6 -

連結財務データ

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

	2018年度上半期末	2017年度末
流動資産	463,246	459,201
固定資産	554,790	534,935
資産合計	1,018,036	994,137

(単位:百万円)

	2018年度上半期末	2017年度末
流動負債	316,277	299,050
固定負債	79,969	82,328
負債合計	396,247	381,379
純資産合計	621,789	612,757
負債純資産合計	1,018,036	994,137

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	2018年度上半期	2017年度上半期
売上高	554,911	534,136
営業利益	42,165	46,000
経常利益	45,860	48,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,572	34,206

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	2018年度上半期	2017年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,064	36,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	-32,190	-16,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	-14,573	-24,768

(注) 本中間報告書における金額、持株数、持株比率は、記載単位未満を切り捨てて表示しています。

- 7 -

発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
1,187,540,000株	492,507,285株	21,285名

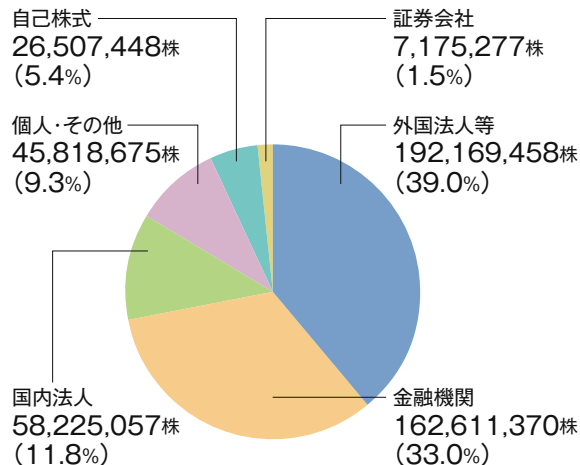
大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
旭化成株式会社	21,039	4.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,809	4.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,027	4.29
第一生命保険株式会社	19,681	4.22
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	13,477	2.89
積水ハウス株式会社	11,998	2.57
積水化学グループ従業員持株会	8,524	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	8,343	1.79
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	8,037	1.72
株式会社三菱UFJ銀行	7,618	1.63

(注)1.当社は、自己株式を26,507,448株保有していますが、上記大株主からは除いています。
2.持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

- 8 -

株式の所有者別分布状況



会社概要 (2018年9月30日現在)

積水化学工業株式会社(Sekisui Chemical Co.,Ltd.)

創 立: 1947年(昭和22年)3月3日
資 本 金: 1,000億237万5,657円
本 社: 〒530-8565 大阪市北区西天満2丁目4番4号
電話: 06-6365-4119(法務部総務グループ)

グループ従業員数: 26,592名

事業年度: 4月1日から翌年3月31日まで

取締役および監査役

代表取締役社長	高下 貞二	社外取締役	加瀬 豊※
代表取締役	久保 肇	社外取締役	大枝 宏之※
取締役	上ノ山智史	常勤監査役	長沼 守俊
取締役	関口 俊一	常勤監査役	濱部 祐一
取締役	加藤 敬太	社外監査役	小澤 徹夫※
取締役	平居 義幸	社外監査役	西 育良※
取締役	竹友 博幸	社外監査役	鈴木 和幸※
社外取締役	石塚 邦雄※		

(注)※印の5名は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員。

株主メモ

株式に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目5番6号

電話(通話料無料) **0120-094-777**

- 三菱UFJ信託銀行では、特別口座に記載された株式をお持ちの株主様のお手続きのみを取り扱うこととなりますので、ご注意ください。
- その他の株主様の各種お手続きは、口座を開設されているお取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の受取方法のご指定等のお申し出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

積水化学をもっと知る

ホームページ上に、積水化学グループについてもっと知っていただくためのコンテンツをご用意しました。



パソコン、スマートフォンから下記の方法によりアクセスしてください。

① 下記URLを直接入力

<https://www.sekisui.co.jp/aboutsekisui/index.html>

② キーワード検索

積水化学 もっと知る

検索

積水化学グループ2019カレンダーのご案内

株主の皆様を対象に、積水化学グループ2019カレンダーを差しあげます。ご希望の方は、以下の要領にしたがってお申し込みください。

●お申し込み方法

同封いたしましたアンケートはがきに、必要事項をご記入のうえご返信ください。

●締め切り

2018年12月10日(月)到着分をもって締め切りとさせていただきます。

※お届けは12月下旬の予定です。

